

# 2016年3月期 第1四半期連結業績概要

執行役員  
山西 哲司

- ◆営業利益は前年同期から88.5%増。  
主要3セグメント（受動部品、磁気応用、フィルム応用）全体で利益を創出する構造が定着。
- ◆受動部品は、高周波部品を中心に営業利益が大幅に拡大。  
前年同期から92.3%増となり、四半期ベースでは過去最高利益を計上。
- ◆フィルム応用製品（二次電池）は、北米主要顧客に加え、中国向け、韓国向け販売拡大により前年同期で売上及び営業利益が大幅に拡大。
- ◆磁気応用製品は、HDDヘッドの低調な販売により減益。  
今期のHDD市場販売台数を見直し。当初予想より縮小。  
（HDD市場台数 5億3,000万台 → 4億9,000万台）

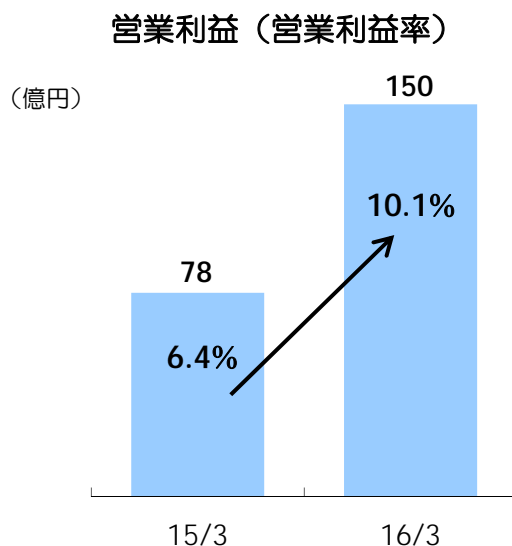
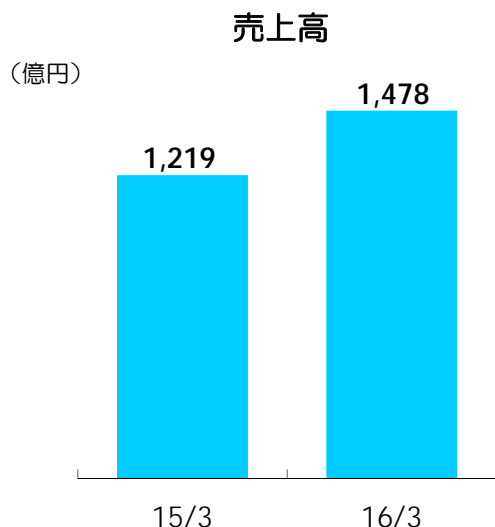
# 2016年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,375	2,796	421	17.7
営業利益	96	181	85	88.5
営業利益率	4.0%	6.5%	+2.5pt	-
税引前利益	104	189	85	81.7
当期純利益	58	131	73	125.9
1株当たり利益	45円73銭	103円96銭	-	-
為替	対ドルレート	102円17銭	121円29銭	18.7%の円安
	対ユーロレート	140円17銭	134円15銭	4.3%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約393億円の増収 営業利益：約61億円の増益			

# 第1四半期各事業の状況（受動部品事業）

売上高 1,478億円（前年同期比21.2%増）  
営業利益 150億円（前年同期比92.3%増）



## ●セラミックコンデンサ

- ・全体売上の約半分を占める自動車市場を中心に前年同期より増加
- ・生産性改善効果により利益率も改善

## ●インダクティブデバイス

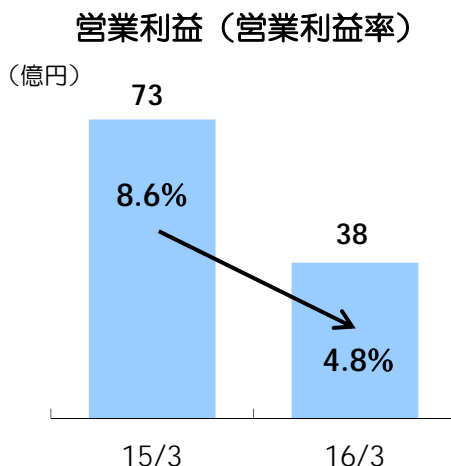
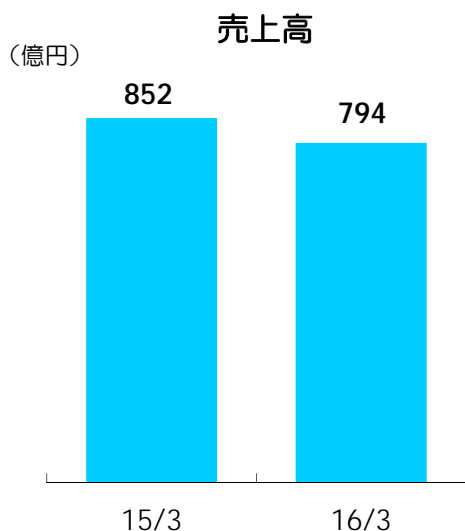
- ・ICT市場向け及び自動車市場向け売上が前年同期より増加
- ・品種構成の良化により利益拡大

## ●高周波部品

- ・生産能力増強によりディスクリット製品の販売拡大
- ・前年同期より利益が大幅に拡大

## ●圧電材料部品

- ・カメラモジュール用OISや自動車市場向け、産業機器市場向け回路保護部品の販売が伸び、前年同期比増収増益



売上高 794億円（前年同期比6.8%減）  
 営業利益 38億円（前年同期比47.9%減）

## ●記録デバイス（HDDヘッド）

- ・Windows XPの買い替え需要があった前年同期に比べ、PC市場が低調に推移。それに伴い、HDD市場も前年同期より低調に推移した結果、HDDヘッドの出荷数量が前年同期で大幅に減少。前年同期比で減収減益。

## ●マグネット

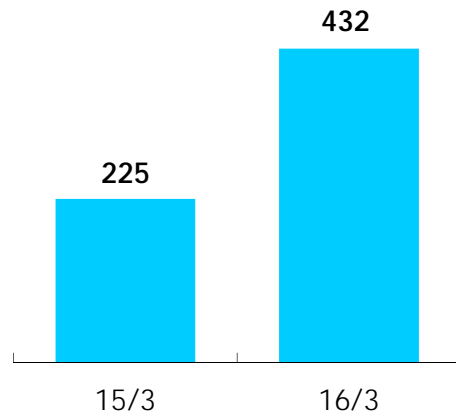
- ・自動車及びICT市場向け（HDD向け）販売が減少。

## ●電源

- ・半導体製造装置、FA機器、計測機器等の産業機器市場向け売上は、堅調に推移。

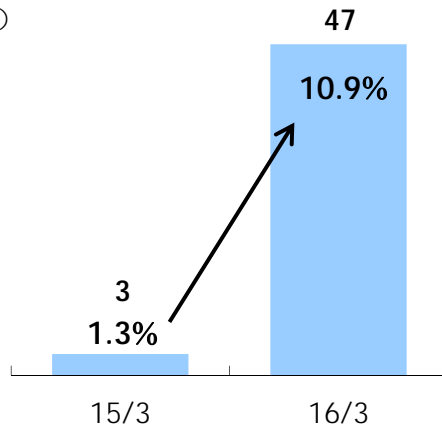
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



売上高 432億円（前年同期比92.0%増）  
営業利益 47億円（前年同期比16倍）

## ● エナジーデバイス（二次電池）

- ・ 北米の主要顧客向けの販売が堅調に推移したこと、及び中国向け、韓国向け販売が大幅に増加したことにより前年同期比増収増益。

# セグメント別四半期実績



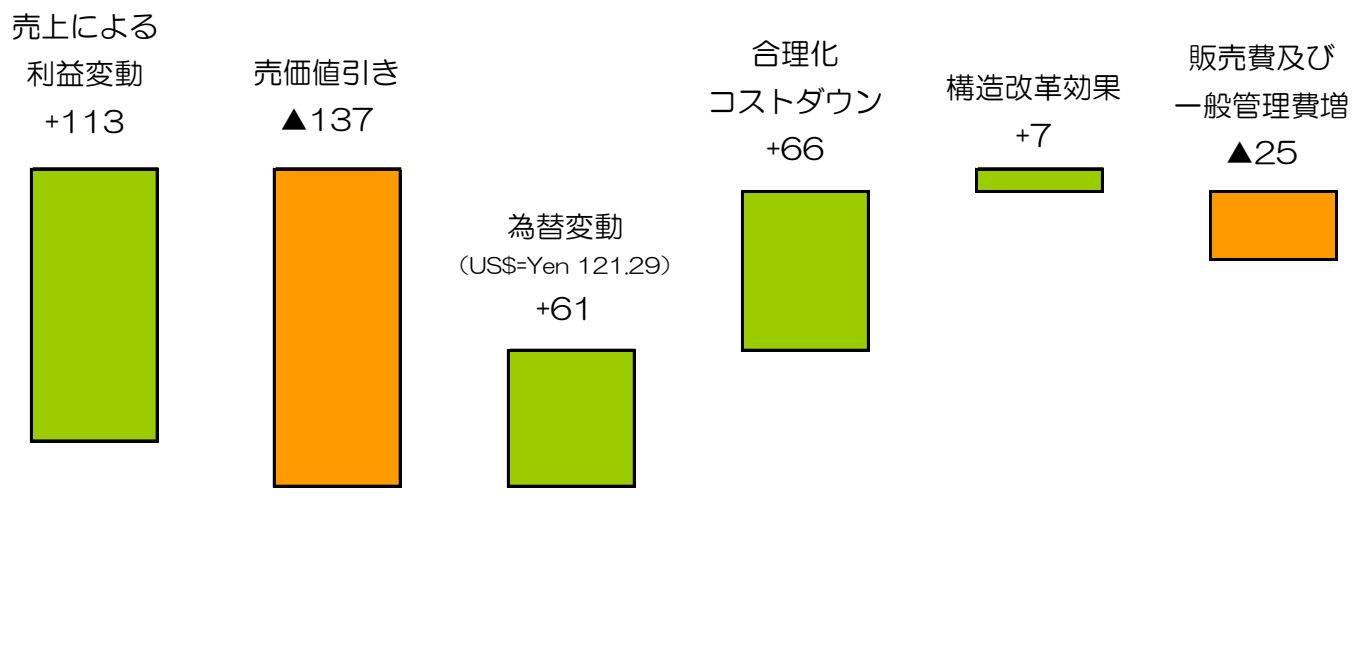
(億円)		2015年3月期 第1四半期 (A)	2015年3月期 第4四半期 (B)	2016年3月期 第1四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	365	376	391	26	7.1	15	4.0
	インダクティブデバイス	357	364	379	22	6.2	15	4.1
	その他受動部品	497	628	708	211	42.5	80	12.7
	<b>受動部品合計</b>	<b>1,219</b>	<b>1,369</b>	<b>1,478</b>	<b>259</b>	<b>21.2</b>	<b>109</b>	<b>8.0</b>
	記録デバイス	591	626	546	△ 45	△ 7.6	△ 80	△ 12.8
	その他磁気応用製品	262	259	248	△ 14	△ 5.3	△ 11	△ 4.2
	<b>磁気応用製品合計</b>	<b>852</b>	<b>885</b>	<b>794</b>	<b>△ 58</b>	<b>△ 6.8</b>	<b>△ 91</b>	<b>△ 10.3</b>
	<b>フィルム応用製品合計</b>	<b>225</b>	<b>441</b>	<b>432</b>	<b>207</b>	<b>92.0</b>	<b>△ 9</b>	<b>△ 2.0</b>
	その他	78	103	92	14	17.9	△ 11	△ 10.7
	<b>合計</b>	<b>2,375</b>	<b>2,799</b>	<b>2,796</b>	<b>421</b>	<b>17.7</b>	<b>△ 3</b>	<b>△ 0.1</b>
営業利益	受動部品	78	80	150	72	92.3	70	87.5
	磁気応用製品	73	63	38	△ 35	△ 47.9	△ 25	△ 39.7
	フィルム応用製品	3	94	47	44	-	△ 47	△ 50.0
	その他	△ 5	6	4	9	-	△ 2	△ 33.3
	<b>小計</b>	<b>148</b>	<b>243</b>	<b>239</b>	<b>91</b>	<b>61.5</b>	<b>△ 4</b>	<b>△ 1.6</b>
	全社および消去	△ 52	△ 50	△ 58	△ 6	-	△ 8	-
	<b>合計</b>	<b>96</b>	<b>194</b>	<b>181</b>	<b>85</b>	<b>88.5</b>	<b>△ 13</b>	<b>△ 6.7</b>
営業利益率	4.0%	6.9%	6.5%	+2.5pt	-	-0.4pt	-	
為替	対ドルレート (円)	102.17	119.21	121.29				
	対ユーロレート (円)	140.17	134.74	134.15				

2015年3月期  
第1四半期  
96億円

営業利益 +85億円

2016年3月期  
第1四半期  
181億円

(単位：億円)





# 第2四半期の売上高増減イメージ

(億円)

セグメント 区分	2016年3月期 1Q実績	2016年3月期 2Q予想 (対1Q)	主な要因・予想の前提
受動部品	1,478	+3%~+4%	ICT市場向け及び自動車市場向け 各種製品の販売拡大
磁気応用製品	794	+4%~+5%	需要の回復によるHDDヘッドの販売増
フィルム 応用製品	432	+30%+ $\alpha$	ICT市場向け二次電池の販売増 (主要顧客の新機種立上げに伴う販売増)
その他	92		
合計	2,796	+8%~+10%	

為替前提

為替レート \$/Yen            121.29  
 為替レート EURO/Yen        134.15

115.00  
 130.00

# 2016年3月期 連結業績予想及び配当金見通し



期初公表値（4月28日）から変更なし

(億円)	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 業績予想	業績予想対前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	10,826	11,800	974	9.0%
営業利益	725	950	225	31.0%
営業利益率	6.7%	8.1%	+1.4pt	-
当期純利益	494	650	156	31.6%
1株当たり利益(円)	392.78	515.92	-	-
配当金	上期：40円 下期：50円 年間：90円	上期：60円 下期：60円 年間：120円	-	-
為替	対ドルレート	109.84	115.00	-
	対ユーロレート	138.88	130.00	-

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。  
[http://www.tdk.co.jp/ir/ir\\_events/conference/2016/1q\\_1.htm](http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2016/1q_1.htm)